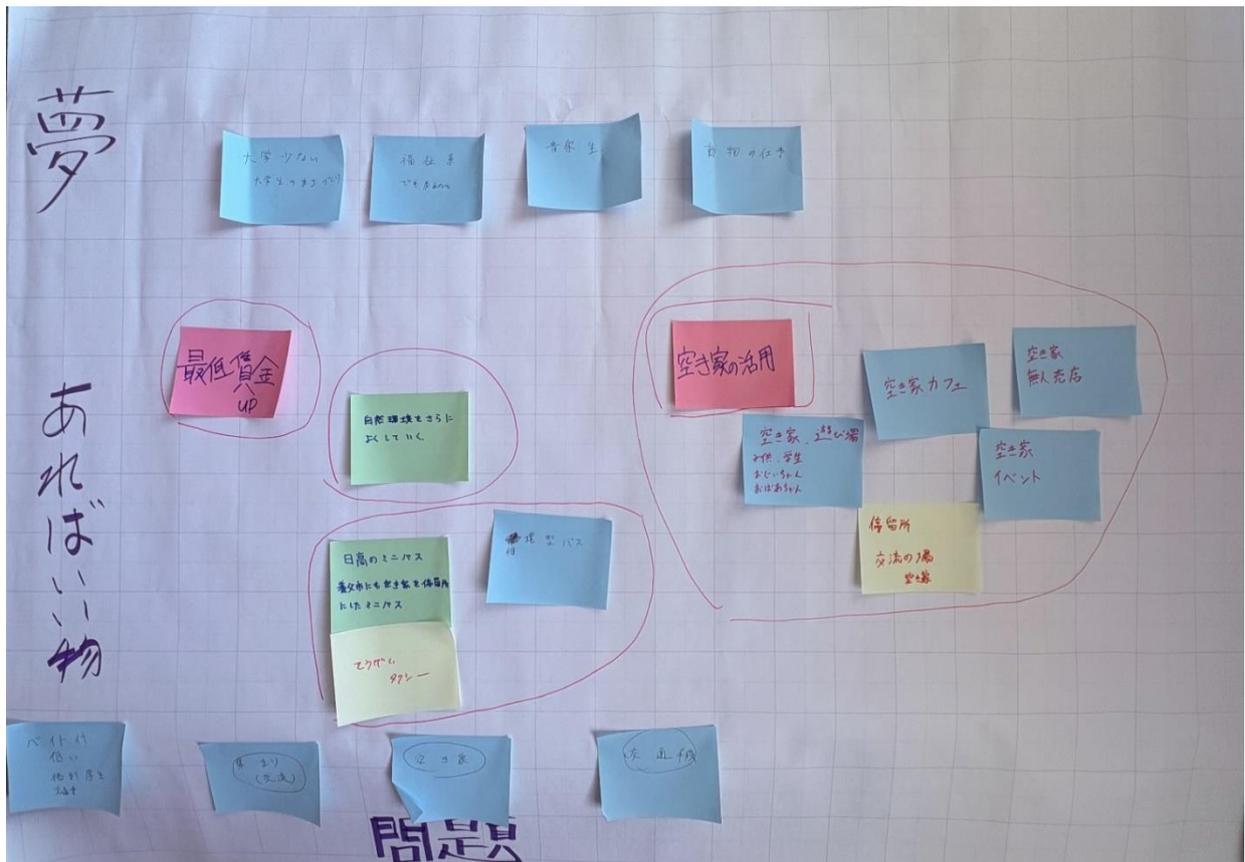


高校生との意見交換会 報告書

学校名	第一学院高等学校養父校		
年月日	令和7年6月30日	会場名	第一学院高等学校養父校 3階 教室6
開始時間	12時10分	終了時間	13時10分
参加数	生徒 10人	議員 6人	合計 16人
班長	西垣 司	報告者	石本 毅、塚本正彦、井戸弘美、西垣 司
班員名	(グループ1) ○石本 毅、西垣 司 (グループ2) ○塚本正彦、浄慶耕造 (グループ3) ○井戸弘美、谷垣 満 (○印…進行役)		
テーマ	帰ってきたいと思えるまちとは？		

グループ1



【出された意見・アイデア】

参加者の将来の夢と課題

- ・福祉系の仕事に関わりたいが、十分な職場がない可能性。
- ・近隣の大学で勉強したいが、大学が少ない。
- ・音楽に関心があるが、この地域で研鑽を積むのは難しいかもしれない。
- ・動物関係の仕事をやりたいが、この地域で仕事はあるか？

今、地域で感じていること

- ・バイト代が安い。バイト先の福利厚生や交通費補助で不十分。
- ・学生が気軽に行ける多世代の交流の場が少ない。
- ・空き家の活用。
- ・交通が不便。何度も乗り換え、時間がかかる。

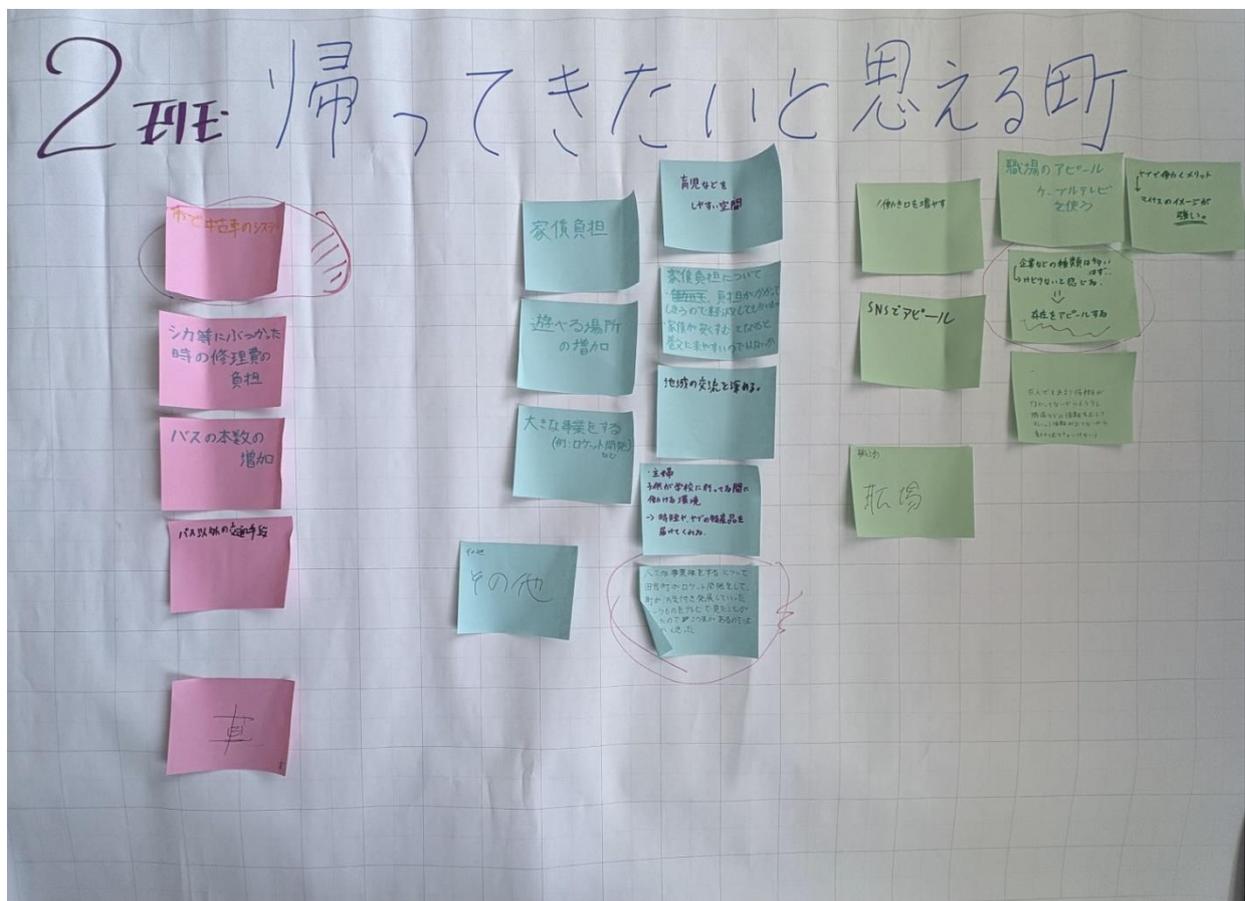
あったらいいなと思うこと

- ・最低賃金アップ。
- ・自然環境の改善。
- ・（やぶくるのような）送迎タクシーと循環型バス。
- ・バス停近くの空き家を活用した交流の場（カフェ、無人売店、多世代の遊び場、イベント）。

【グループ1まとめ】

- ・学生に、将来の夢と、夢を叶えるための課題を話していただいた。
- ・学生が日頃地域で感じていることについて話された（空き家、交流の場、交通の便等）。
- ・これら地域で感じていることを解決するため、あったらいいなと思われることが話された（バス停近くの空き家活用による交流の場、循環型バスや送迎タクシー）。
- ・地元で将来の夢をかなえるために、現在の地域の課題や将来に向けての解決の方法を考える一助になったと考える。

グループ2



【出された意見・アイデア】

- ・家賃保証をしてほしい。
- ・年配者の自家用車を市に贈与する。高齢者の事故が減る。そのために何か特典を設ける。
- ・ロケット開発など、思い切った施策で突出する。
- ・求人情報だけでなく、こんな職種の会社なり、仕事があるということを発信し、周知する。

【グループ2まとめ】

- ・交通手段など、金銭が掛かるので、養父市に住むと、家賃保証があれば済む人が増える。
- ・車をもらえる、または安価で入手できる。

- ・新しい分野で、養父市としての色を出す。
- ・求人だけだと、養父市にどんな仕事があって、どういう企業があるのかわからない。SNS発信などで、養父市のPRを発信してほしい。

グループ3



【出された意見・アイデア】

課題について

- ・遊ぶ場所がない。
- ・お店が（飲食など）選ぶことが出来ない。
- ・選択肢が少なすぎる。

市の魅力

- ・自然が沢山あるので、養父市の資源を使用する。
- ・木を利用して家やログハウスを作る。
- ・木を利用して加工品として生まれ変わらせる。
- ・キャンプなどアウトドアで市の魅力を生かす。
- ・動物が沢山いるので市全体が動物園になればいい。

仕事について

- ・SNS、インフルエンサーを利用。芸観大とのコラボもいいかも。
- ・就職先ですべてをそろえるのは無理なので、コアな仕事を作る。
- ・企業の誘致。

【グループ3まとめ】

- ・ 広報の強化をしていき、出来れば女性をターゲットにしていく方が良い。
- ・ きれいな公共施設トイレなど安全対策や女性専用などがあれば、特にいい。
- ・ 子育てに関しても充実しているので、もっと、地元の魅力を知ってもらう方向に力を入れるべき。

ま
と
め

高校生においては、市内の移動・通学手段等における交通事情の不便性を感じていて、循環型交通網を理想としている。

市内の幹線道で見る光景も空き家が良く目立ち、この現状を逆の発想に切り替えし、利活用を検討することは市の資源として取り組む必要があるのでは。

移住の可能性が低いのであれば、都市部と養父市の二拠点生活を楽しむことの構築を進めることも、養父市に帰ってきたい一因に繋げたい。

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年8月5日

報告者 班長 西垣 司